

地域保健活動DX推進ステップ表

ステップ 1 基盤整備					ステップ 2 実行性強化					ステップ 3 デジタル・ソリューションの導入・展開					ステップ 4 継続的改善とデジタル文化の深化				
組織方針や体制づくり、業務課題を可視化しDX推進の基盤をつくる段階					部門別計画・人材育成・データ基盤整備を具体的に進める段階					保健サービス／市民サービス、業務／事業にデジタルソリューションを導入・展開する段階					デジタル文化が所内に浸透し、継続的なデジタル化導入によるサービス／業務／事業の改善に取り組む段階				
ビジョン・戦略					● DXの目的・方向性を組織の上位意思決定層で議論・決定 ● 組織横断の推進チーム発足 ● DX推進方針・中期計画の策定					● 組織全体でのDX戦略・ロードマップ確定 ● 住民参加型サービス方針の策定 ● 標準化データを生かした住民サービス方針策定					● DX推進の成果を評価し、戦略の見直し・進化 ● DX文化の組織内定着 ● データ活用戦略の更新・進化				
人材・組織					● DX推進リーダーの任命・役割の明確化 ● 部門間の連携方針の明確化 ● デジタル活用への関心層の発掘・意識醸成 ● データの標準化に対応するスキル研修の検討 ● 産官学連携の基盤づくり					● 職員向け研修（基本的デジタルスキル／eラーニング等） ● OJTによるデジタル活用支援 ● 国の医療分野等のICT化・DX政策と整合させた研修・体制づくり ● 民間パートナー・ITベンダー／アカデミアとの連携強化 ● 標準化データ活用の基本研修					● DX推進人材の自律的活動推進 ● 成功体験の共有・表彰制度等の整備 ● 住民・地域や他部門との協働による持続可能な仕組みづくり				
業務・プロセス					● 現状業務の可視化・業務フローの整理 ● デジタル活用可能な業務の棚卸し ● 健康管理データ標準化に沿った業務課題の洗い出し					● 小規模なデジタル化トライアル（例、電子申請試行） ● データ整備試行（例、電子母子手帳など） ● 部門・分野ごとのデータ標準化計画への適合性検討					● データ活用による業務改善、PDCAの定着 ● 住民協働型サービスの継続的改善 ● 外部評価や住民満足度調査等の活用				
テクノロジー基盤					● ICTインフラ（ネットワーク・Wifi環境整備など）の現状把握 ● 既存システム・ツールの棚卸し ● セキュリティ基本方針の明確化 ● 標準化データ項目に対応するシステム整備の方向性を検討					● データ連携基盤（例、オープンデータ・APIなど）の実装 ● AIツール・RPAの業務活用 ● 健康管理データ標準化にもとづく住民サービスシステムの実装 ● セキュリティ強化施策					● データドリブンな業務改善の進化・システム最適化 ● 標準化データ基盤の運用改善 ● 次世代技術（IoTなど）の検討・実装				
デジタル・ディバイド対応					● 高齢者・障がい者・外国人住民等への利用支援					● わかりやすいUI・操作性確保					● 利用者満足・公平性の確保				